

第5学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年11月22日（金） 第5校時

担任（T1）

図書担当（T2）

学校司書（S）

1 単元名 「和の文化祭」を開こう

教材名「和の文化を受けつぐ一和菓子をさぐる」（東京書籍 5年下）

2 単元の目標

○和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりすることができる。 【国語への関心・意欲・態度】

○事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。 【話すこと・聞くこと】

○自分の課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。

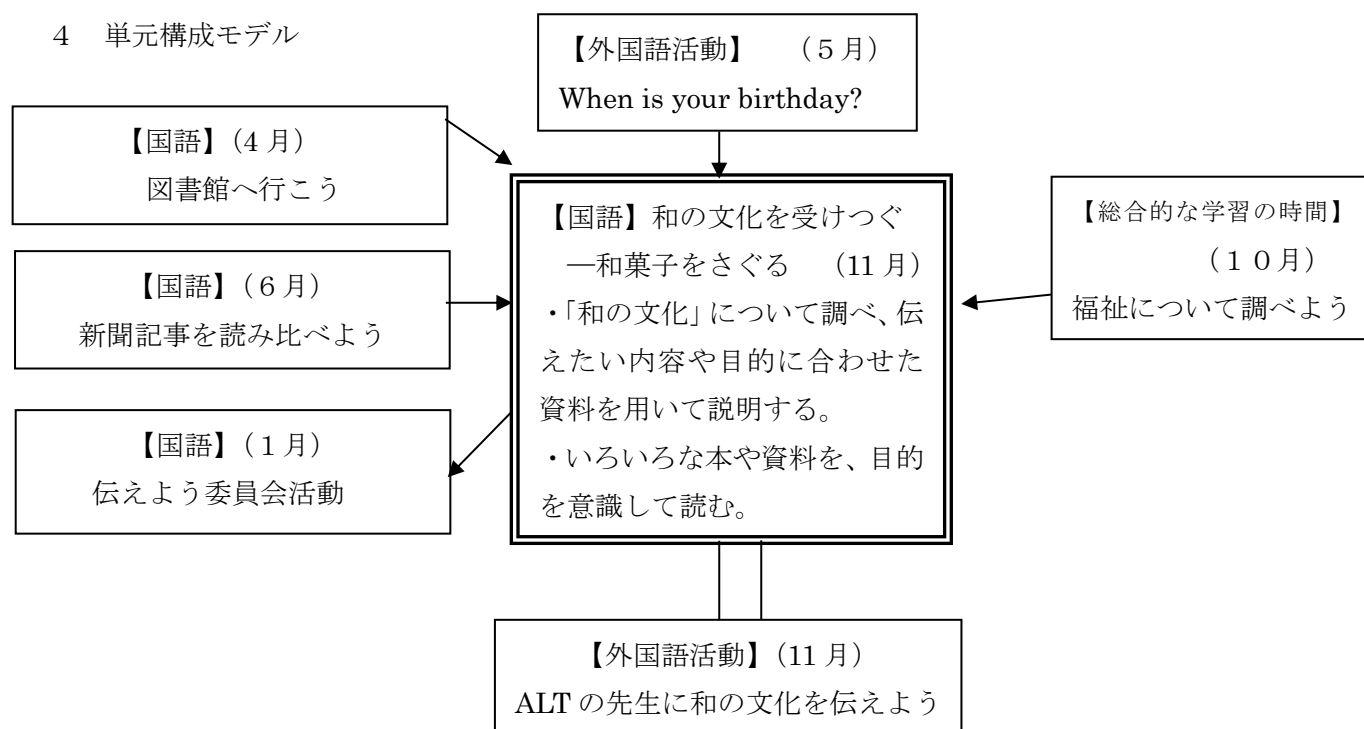
【読むこと】

○文章のいろいろな構成について理解することができる。 【言葉の特徴やきまりに関する事項】

3 育成する情報活用スキル

- ・集めた情報の共通点や相違点を見つけながら、分類したり比較したりする。
- ・集めた情報の中から発表に使いたい内容を選択する。
- ・集めた情報が相手に伝わるように構成を考えて組み立てる。

4 単元構成モデル



5 単元指導計画（全14時間 本時8／14）

次	時	学習内容	評価				評価規準	図書館との関連	他教科との関連
			関	話聞	読	言			
1	1	○教材文を通読し、和の文化について調べ、発表するという学習課題について確認し、今後の見通しをもつ。	○				【関】和の文化について調べて発表するという目的を意識し、学習の見通しをもつことができる。(発言・態度)		
	2	○文章を序論・本論・結論に分け、筆者の主張を読み取る。			○	○	【読】和の文化について要旨をとらえて読み取ることができる。(発言・ノート)		
	3 4	○「歴史」、「他の文化との関わり」、「支える人々」という3つの観点や構成に着目して、筆者の考えや説明の仕方を読み取る。			○	○	【読】3つの観点や構成に着目して、内容を的確に理解して読み取ることができる。(発言・ノート)		
	5	○教材文を使って資料の効果について考える。 ○写真、グラフ、年表などの効果について確認する。			○		【読】資料の効果を考えることができる。(ワークシート・発言)		
	6 7	○どんな和の文化を説明するのかグループで話し合い、本や資料などから情報を集める。			○		【読】課題を解決するために、複数の資料を読み、必要な情報を選ぶことができる。(情報カード)	課題解決するため、複数の資料を読み、必要な情報を選ぶ。	
2	8	○情報カードを整理して、説明するための構成を考える。 (本時8／14)		○			【話聞】必要な情報を選んだり、組み合わせたりして、説明の順番を考えることができる。(発言、情報カード)	集めた情報の共通点や相違点を見つけながら、分類したり比較したりする。	
	9	○資料から情報を整理し、発表メモを作成する。		○			【話聞】集めた情報を整理し、発表メモを作ることができる。(発表メモ、発言)		

	10	○説明の構成や説明に効果的な資料についてグループで検討する。			○	【読】説明の構成や説明に必要な資料について考えている。(発表メモ、発言)	集めた情報の中から発表に使いたい内容を選択する。	
	11	○発表メモを使い、グループごとに発表の準備、練習をする。		○		【話聞】発表メモをもとに、用意した資料を用いながら説明する練習を行い、よりよい発表の仕方を考えている。(発表メモ・行動観察)		
	12	○プレ発表会を開き、発表の流れや発表に用いる資料について助言し合う。(5年1組、2組合同で行う) ○助言をもとにグループで発表内容を見直す。		○		【話聞】発表を聞き合い、説明の構成や発表に用いる資料について助言することができる。(アドバイスカード・発言) 【話聞】説明をより分かりやすくするために、説明の構成や資料を見直す。(ワークシート、振り返りシート、発言)	集めた情報が相手に伝わるように構成を考えて組み立てる。	
3	13	○助言をもとにグループで発表内容を見直し、発表練習をする。		○		【話聞】説明をより分かりやすくするために、説明の構成や資料を見直す。(振り返りシート、発言)		
	14	○ALT を招いて、和の文化祭を開く。		○		【話聞】説明の構成や資料の使い方という視点を意識し、発表したり発表を聞いたりすることができる。(発表メモ・ワークシート) 【話聞】相手を意識して、自分たちが考えた発表を行うことができる。(発表・振り返りシート)		外国語 「ジェン先生に伝えよう」

6 本時の学習

(1) 目標

自分たちで集めた情報カードを整理して、相手に興味を持って聞いてもらえるような発表の構成を考えることができる。

(2) 展開 (8 / 14 時間)

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援 (●T1、◆T2、◇S) と評価 (☆)
1. 本時のめあてを確認する。 ジェン先生に興味を持って聞いてもらえるような説明の順番を考えよう 2. 情報カードの整理の仕方について確認する。 ・情報カードを、1枚ずつ内容を読みながら提示する。 ・情報カードを分類する。 ・分類したものに見出しをつける。 3. グループで集めた情報カードを整理する。 ・1人ずつ情報カードの内容を説明しながら紹介する。 ・似た内容のカードがあれば近くに並べて置いておく。 ・整理した中から、発表する観点を3つ選ぶ。 ・選んだ観点をどの順番で発表するか構成を考える。 4. 本時の学習をふりかえり、次時の見通しをもつ。	●本時でやること2つを確認する。 ①情報カードを整理して観点を考える。 ②ジェン先生に伝える内容やつながり、順番を考える。 ●観点は3つ選んで、発表することを伝える。 ●◆◇教師がデモンストレーションを行い、情報カードの整理の仕方を教える。 ●内容の似たカードをグループにしていき、観点を作っていくことを確認する。 ●作業する段階では、観点は3つ以上できてもよいことを伝える。 ●教科書で紹介されている観点「歴史」「他の文化との関わり」「支える人々」以外でもよいことを伝える。 ●予め出てきそうな観点は提示しておき、情報カードをその観点ごとに分類させる。当てはまらない物は自分たちで観点を考えさせる。 ◆◇集めた情報が正しく分類されているか、グループごとに確認し助言する。 ●観点を3つ選ぶ際には、その内容やつながりについても考えさせる。また、ジェン先生に伝えるにはどの観点がよいかも考えさせる。 ☆必要な情報を選んだり、組み合わせたりして、説明の順番を考えることができる。 (発言、情報カード) ●次時に観点ごとの発表メモ作りをすることを伝える。

(3) 本時の評価

評価基準	十分に満足と判断される児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断される児童の姿の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
話す・聞く能力	発表の構成を意識しながら、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、発表する観点を考えている。	集めた情報カードを内容ごとに整理し、発表するための観点を3つ選ぶことができる。	情報カードに書かれている大事な言葉を示し、同じ言葉が使われているカードがないか見つけさせ、分類の仕方を支援する。

○研究の視点

- ・教師によるデモンストレーションは、児童が情報カードを整理する活動の見通しをもつことにつながったか。
- ・予め観点をいくつか準備しておいたことは情報カードの整理をする際の手助けとなったか。

7 研究協議の概要

参加者	校内25名 校外10名 計 35名
授業及び研究協議の概要	・「ALTの先生に和の文化を伝えよう」という単元のゴールを明確にし、活動ごとに授業者が児童に意識づけることで、児童の学習意欲が最後まで持続した。 ・グループごとに、選んだ和の文化について図書を用いて調べ「そのままカード」にまとめた物を、観点ごとに分け、さらに分かりやすい発表となるよう構成を意識しながら観点を3つに決める活動を設定した。その際、担任・学校図書館担当・学校司書でロールプレイを行ったことは、児童が活動に取り組む際の手がかりになったと考える。 ・観点到に分けたり、その中から3つに決めたりする活動では、ALTの先生に分かりやすく伝えることを意識しながら、グループ内で話を進めるよう指導者が助言をした。3人の指導者が8つのグループを分担し支援したことで、どのグループも時間内に活動を終わらせることができた。 ・研究協議では、ALTに分かりやすく伝えるとはどういうことか、活動ごとに求める児童像を、授業者が明確にもって授業にのぞむとより良かったのではないか、という話題がのびた。事前にALTに興味のある事柄を尋ねておいたり、どの内容が一番良かったかを決める活動を取り入れたりする方法もある、という提案もあった。今後の取組に生かすことのできる視点だったと感じた。